

地域におけるコーディネーターのネットワークとスキルアップ

ー杉並区「夏休みサイエンススクール」&地域コーディネーター研修会ー

杉並区では、平成14年度から、地域全体で子供の教育を行うために「杉並区学校教育コーディネーター」制度を設置し、コーディネーターの育成及びその効果的な活用について実践を重ねてきています。

この制度を開始した当初から学校教育コーディネーターを務めてきた経験と実績のある方々を講師(チーフコーディネーター)として、現在、杉並区の各学校支援(地域)本部において活躍する地域コーディネーターのレベルアップを、区教委と連携し学校支援本部実行委員会(実行委員長:白滝一紀)研修部会(部長:伴野博美)が進めています。

7月24日、杉並区立高井戸小学校を会場に「夏休みサイエンススクール」(NPO法人スクール・アドバイス・ネットワーク主催)が開催されました。サイエンススクールでは、企業による社会貢献活動や団体、NPOの協力を得て、杉並区の小学生を対象とした実験教室を行うと同時に、その実験教室の様子を各地域コーディネーターが見学し、企業や団体、NPOとのコーディネートの方法などを学習する地域コーディネーター研修(学校支援本部実行委員会研修部会主催)としても位置づけられていました。

各学校支援本部の地域コーディネーターによる授業支援を視野に入れた研修「夏休みサイエンススクール」の様をお伝えします。

子供たちに理科をもっと身近に感じてほしいという思いから、杉並区では理科教育に力を入れています。今回は、夏休みの自由研究などのきっかけにもしてもらおうと、NPO法人スクール・アドバイス・ネットワークや学校支援本部実行委員会研修部会のチーフコーディネーターの仲介のもと実施されました。(全7プログラム、下表参照)

授業は、実際に体験作業を取り入れているプログラムが多く、子供たちは科学の面白さ・奥深さを体感しながらプログラムを楽しんでいました。地域コーディネーターの方々も熱心にプログラムの様子を見学していました。

	プログラム内容	対象学年(募集人数)	協力団体等
A	「家の中の安全・危険」	1・2年生と保護者(15組 30人)	ミサワホーム(株)
B	「空を飛ぶって不思議」	1,2年生(25人)	NPO法人 子育て応援隊 むぎくみ
C	①「アイスクリームちょうだい!!」(45分) ②「探査機を宇宙に飛ばそう」(45分)	3,4年生(30人)	日本アイ・ビー・エム(株)
D	「太陽と風となかよくなる家」	3,4年生(30人)	ミサワホーム(株)
E	「しずくの大冒険」	4,5,6年生(20人)	(株)INAX
F	「風力発電のしくみを学んで発電してみよう」	5,6年生(30人)	日本アイ・ビー・エム(株)
G	「LED発光実験」	5,6年生(20人)	NPO法人 TFF

(全て90分、途中休憩あり)

授業終了後は、各団体によるプログラム内容の趣旨や留意点などの解説が行われ、地域コーディネーターの方々からは質問も飛び出すなど積極的な雰囲気でした。

その後、小学校の地域コーディネーターと中学校の地域コーディネーター別に質疑応答形式の研修会が行われ、チーフコーディネーターの方々への質問が活発に行われました。地域コーディネーターという枠組について、授業を行う人材の探し方・事前の打合せ期間など、幅広い質問が多く取り交わされました。

今回の研修会を担当された、学校支援本部実行委員会研修部長の伴野博美さんは、「今回のような研修の形式は初めての試みでしたが、ゆくゆくは地域ごとでこのような取組を実施できるような体制を整えたいです。」と話されました。



特製空き缶つぶし機でテコの原理を体感し、「小さい力が大きくなる仕組みの存在」を知ることによって、ドアでのさみ事故の危険を学習します。

A「家の中の安全・危険」



火傷などに注意しながら、半田ゴテを使い発光実験を行う装置を作ります。子供たちは慣れない作業に苦戦していたようでした。

G「LED発光実験」



扇風機を用いた風力発電を製作するために、厚紙で風車の部分を作成します。枚数や傾きで発電量が変わることを体感してもらいます。

F「風力発電のしくみを学んで発電してみよう」

今回の研修には、「第二回 教育支援コーディネーターミーティング(主催:東京都教育庁生涯学習課)」として、他の区や市からのコーディネーターの方々も参加され、「模擬授業を見学し、より具体的なイメージをつかむことができ参考になった。」「参加された方々の意識の高さとあふれる情熱にエネルギーをいただいた。」などの感想が寄せられました。